

■一般目標 (GIO)

歯冠修復技工学の意義と目的を理解するために、歯周組織との関係、咬合、審美性などを考慮し機能的な補綴装置の製作に関する知識と技術を学ぶ。

■到達目標 (SBOs)

- ・インレーの窩洞形態，窩洞の構成要素，窩洞の分類を説明できる。
- ・支台築造の意義と目的を説明できる。
- ・プロビジョナルクラウン，ブリッジの意義と目的について説明できる。
- ・ブリッジの臨床的意義，特徴，適応用途について説明できる。
- ・インプラントの構造を説明できる。

■教科書：(教1) 最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学 (医歯薬出版)
(教2) 最新歯科技工士教本 歯科技工実習 (医歯薬出版)

■参考資料：プリント配付

■授業時間：金曜日 18:00～18:45

■オフィスアワー：小林達朗 金曜日・17:00～17:45

今井秀行 (imai.hideyuki@nihon-u.ac.jp) 金曜日・17:00～17:45

■成績評価：定期試験(80%)，平常試験(20%)として評価する。平常試験後に解説を行いフィードバックする。

■注意事項：講義時に教科書と配付プリントを持参すること。

■授業方法：教科書に沿った内容のスライドとプリントを使用して講義を行う。第7，15回時に平常試験と解説を実施する。

■準備学習：事前に講義内容を教科書で確認しておくこと。平常試験を実施するので復習すること。

■準備学習時間：予習と復習それぞれに講義時間と同等の時間を充てること。

■実務経験：窪地 慶，小林達朗：現在，日本大学歯学部歯科補綴学第Ⅲ講座に在籍しており，生体と調和した補綴装置を製作する意義や方法について，歯科医師の立場から説明することで，理解の向上に繋がると考える。

今井秀行：歯科技工士として臨床経験をもとに本講義が補綴装置の製作や将来歯科技工士として就業するために重要であり，学ぶ場を提供したいと考える。

■関連教科：歯冠修復技工学(1年，3年)

■予定表：

| 授業日・担当者 | 講義項目 | 学修到達目標 |
|-------------------|--|---|
| 第1回4月10日 小林 達朗 | 1. クラウンの概要と種類 (教1)pp.5-10 2. ブリッジの概要と種類 (教1)pp.11-16 | ・クラウンの種類を列挙できる。 ・ブリッジの臨床的意義を説明できる。 ・ブリッジの構成要素を説明できる。 ・ブリッジの適応症と禁忌症を説明できる。 ・ブリッジと有床義歯の利点・欠点を比較できる。 |
| 第2回4月17日 小林 達朗 | 3. 試適・仮着・合着 4. インレー・アンレー修復法と直接法による修復(充填) 1) 窩洞形態・窩洞の構成要素 2) 使用材料・操作法 (教1)pp.100-103, 115-121 | ・部分被覆冠の種類と特徴を説明できる。 ・インレーの窩洞形態，窩洞の構成要素，窩洞の分類を説明できる。 |
| 第3回4月24日 今井 秀行 | 4. インレー・アンレー修復法と間接法による修復 1) 窩洞形態・窩洞の構成要素 2) 窩洞の分類 | ・間接法での合着による部分歯冠修復を説明できる。 ・窩洞形態，窩洞の構成要素，窩洞の分類を説明できる。 |

| 授業日・担当者 | 講義項目 | 学修到達目標 |
|--------------------|---|--|
| | (教1)pp. 115-121 | ・使用材料の特徴および修復物の製作法と注意点を説明できる。 |
| 第4回5月1日 今井 秀行 | 5. 支台築造(1) (教1)pp. 52-55 (教2)pp. 76-82 | ・支台築造の意義と目的を説明できる。 |
| 第5回5月8日 今井 秀行 | 5. 支台築造(2) (教1)pp. 52-55 (教2)pp. 76-82 | ・支台築造の製作法を説明できる。 ・種類と使用材料を説明できる。 |
| 第6回5月15日 今井 秀行 | 6. プロビジョナルレストレーション (教1)pp. 58-61 | ・プロビジョナルレストレーションの意義と目的について説明できる。 ・プロビジョナルレストレーションの製作法を述べることができる。 ・プロビジョナルレストレーションの種類と使用材料を説明できる。 |
| 第7回5月22日 今井 秀行 | 7. 第1～6回まとめ 「平常試験」, 解説 | ・第1～6回の講義内容について理解度を確認する。 ・理解度の低い箇所について知識を深めることができる。 |
| 第8回5月29日 今井 秀行 | 8. ブリッジ(1) 1)ブリッジの概要と種類 (教1)pp. 12-15 | ・固定性, 半固定性, 可撤性のブリッジに適合される支台装置を説明できる。 ・各種ブリッジの製作方法を比較できる。 |
| 第9回6月5日 今井 秀行 | 8. ブリッジ(2) 2)ブリッジの支台装置 3)ポンティックの種類と適応 (教1)pp. 147-152 | ・支台歯の配置と設計を説明できる。 ・支台装置の種類と設計を説明できる。 ・ポンティックの種類, 特徴および適応を述べることができる。 |
| 第10回6月12日 今井 秀行 | 8. ブリッジ(3) 4)ブリッジの連結部 5)固定性ブリッジの連結法 (教1)pp. 152-154 | ・ブリッジの種類とポンティックの選択を説明できる。 ・連結部の形態と要件を説明できる。 ・ワンピースキャスト法による連結と, ろう付け法による連結法を説明できる。 |
| 第11回6月19日 今井 秀行 | 8. ブリッジ(4) 6)ブリッジの製作法 (教1)pp. 154-158 | ・ブリッジの製作方法を説明できる。 |
| 第12回6月26日 今井 秀行 | 9. 接着ブリッジの作製法 (教1)pp. 161-164 | ・接着ブリッジの臨床的意義, 特徴, 適応用途について説明できる。 ・製作上の注意点について説明できる。 ・金銀パラジウム合金の硬化熱処理について理解する。 |
| 第13回7月3日 小林 達朗 | 10. インプラント(人工歯根) (1) 1)インプラントの概要 2)インプラントと生体 3)インプラント治療の流れと 歯科技工 (教1)pp. 165-174 (教2)pp. 182-195 | ・インプラントの臨床的意義を説明できる。 ・インプラントの適応症と禁忌症を述べる ことができる。 ・インプラントの構造を説明できる。 ・インプラント治療における歯科技工の位置 づけを説明できる。 |
| 第14回7月10日 小林 達朗 | 9. インプラント(人工歯根) (2) 4)インプラントの種類 5)インプラントの印象採得 | ・インプラントの種類を分類できる。 ・インプラントの上部構造と他の修復物との 違いについて比較できる。 |

| 授業日・担当者 | 講義項目 | 学修到達目標 |
|--------------------|--|--|
| | 6) インプラントの咬合 (教1)pp.167-174 (教2)pp.182-195 | |
| 第15回7月17日 今井 秀行 | 11. 前期のまとめ 「平常試験」と解説 | <ul style="list-style-type: none"> ・第1～14回の講義内容について理解度を確認できる。 ・理解度の低い箇所について知識を深める。 |